

研究成果及び活動一覧 (1997. 1. 1～12. 31)〔五十音順〕

- A : 著書、論文、書評など
 B : 学会での口頭発表その他の活動
 C : 講演、論説など
 D : 学術的調査

井上英明

- A : 1 (論文)「死語としての『浪漫主義』——十九世紀フランスの『七月王政』
 Monarchie de Juillet 1830—49の素描—第一稿」、『明星大学研究紀要』(日本文
 化学部・言語文化学科)第5号、pp. 33～53, 3. 25
 2 (論文)「二度の樂園追放——南北文学の構想——」『比較文学年誌』第33号、早
 稲田大学比較文学研究室、pp. 111～125, 3. 31
 3 (書評)秋山勇造著『翻訳の地平——翻訳者としての明治の作家』『比較文学』第
 三十九卷、日本比較文学会、pp. 100～106, 3. 31
 4 (講義筆録)「世界の中の万葉集」『平成8年度佐倉国際文化大学講義録』、佐倉文
 化大学、pp. 37～40, 3. 31
 5 (翻訳・訳者ノート・解題)『ニュージーランドの神話』青土社、425ps, 6. 30
 6 (論文)「ニュージーランド・マオリの冥界神話と説話——『記』・『紀』と対比し
 て——」井上英明訳『ニュージーランドの神話』所収、青土社、pp. 409～425,
 6. 30
- B : 1 全国大学国語国文学会常任理事、学会運営(年間)
 2 日本文体論学会常任理事、学会運営(年間)
 3 日・豪・ニュージーランド教師連盟理事、学会運営(年間)
 4 東方学会評議員、国際シンポジウム計画(年間)
 5 早稲田大学比較文学会理事、学会運営(年間)
 6 日本比較文学会研究紀要編集委員(年間)
 7 公益信託英米教育交流奨学基金運営委員長(年間)
- C : 1 (論説)「レディ・ムラサキが描いた愛の普遍性」『源氏物語がわかる』所収、
 AERA MOOK, Asahi shinbun Extra Report & Analysis Special No27, 1997,
 7. 10
 2 (講演)『大英博物館で目を醒した眠れる森の美女』平成9年度全国大学国語国文
 学会公開講演会、同志社女子大学、10. 25
- D : 1 『絵入り源氏物語』(山本春正跋) 版本調査、京都大学文学部、10. 27～29

牛村 圭

- A : 1 『ひとりで学べるTOEFL』(監修および共著)、日東書院、287ps、7. 10
 2 「入試英語とは何か」、川本皓嗣・井上健 [編集]『翻訳の方法』、pp. 45～59、東
 京大学出版会、4. 18
 3 A Dutchman's View of Japan——A Reading of Bernard V. A. Röling's *The*

Tokyo Trial and Beyond——『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第5号、pp. 53～59、3. 25

- B : 1 「『三四郎』の運動会——スポーツ文明学試論——」、第4回明星大学日本文化学部合同研究会、明星大学、7. 2
- C : 1 「比較文学概論」、いわき明星大学集中講義、9. 1～4
- D : 1 浅田榮次の事績につきアメリカ合衆国シカゴ大学東アジア図書館において資料調査、3. 13～20

大原千代子

- A : 1 「ヘンリー・ジェイムズの生涯」、ヘンリー・ジェイムズ『鳩の翼』（上）講談社文芸文庫、pp. 487～502
- 2 「ヘンリー・ジェイムズ 年譜」、ヘンリー・ジェイムズ『鳩の翼』（下）講談社文芸文庫、pp. 418～436

岡田恒雄

- A : 1 「J. M. R. レンツの『演劇覚書』——否定の演劇論——」、『ドイツ演劇・文学の万華鏡—岩淵達治先生古希記念論集』、pp. 241～255、同学社、12. 27
- C : 1 『生きる——私の人生観』、野田学園中学校高等学校120周年記念講演、10. 18

加藤めぐみ

- A : 1 書評：「2人のヘレン騒動：95年オーストラリアの話題作」、『南半球評論』第12号、1月、pp. 54～57
- 2 翻訳：ジョン・ペンブル著『地中海への情熱：南欧のヴィクトリア＝エドワード朝のひとびと』、国文社、pp. 3～126 4. 30
- 3 書評：「オーストラリアは本当に楽園なのか？ 降旗学 [著]『残酷な楽園』」、『イングリッシュ・ジャーナル』v. 27、8月号、p. 86
- 4 書評：大津彬裕 [著]『シドニー物語：2000年シドニーオリンピックのまちを歩く』、『英語教育』v. 46、No. 8、10月号、p. 97
- B : 1 オーストラリア・ニュージーランド文学会運営、年間
- 2 日豪ニュージーランド教師連盟運営、年間
- 3 「日本の脅威：オーストラリアの “Invasion Scare Novels”」、オーストラリア・ニュージーランド文学会全国大会、同志社大学、11. 15
- 4 “*Madame Izàn* : an Australian Early Observation of Japan”, Interactions: The Eighth Biennial Symposium on Literatures and Cultures of the Asia Pacific Region, The University of Western Australia, Perth, 12. 9～12
- C : 1 静岡県立大学国際関係学部 講演会 「オーストラリアの歴史と文化概論」、1. 28
- D : 1 キャンベラ、Australian Defence Force Academy, Australian National Library
にてオーストラリア文学資料調査。3. 15～23
- 2 キャンベラ、Australian Defence Force Academy, Australian National Library

にてオーストラリア文学資料調査。8.9～9.7

(平成9年度 文部省科学研究費 奨励研究(A)による調査、研究)

古田島洋介

- A : 1 「日本の大学における漢文教育の窮状と再生への道」、日華交流教育会『日華交流教育会紀要』第23号、pp. 112～113、3. 13
- 2 「漢文訓読の〈割引率〉——記憶術としての定位」、『明星大学研究紀要』(日本文化学部・言語文化学科)第5号、pp. 55～68、3. 25
- 3 「漢文訓読と英文解釈——〈英文訓読〉宿命論」、川本皓嗣・井上健 [編]『翻訳の方法』(東京大学出版会)、pp. 197～215、4. 18
- 4 「〈陰の仕事〉——『於母影』の〈野梅〉をめぐって」、平川祐弘・平岡敏夫・竹盛天雄 [編]《講座：森鷗外》3『鷗外の知的空間』(新曜社)、pp. 33～55、6. 30
- 5 「研究の回顧と展望——〈鷗外漢詩〉研究の現在」、平川祐弘・平岡敏夫・竹盛天雄 [編]《講座：森鷗外》3『鷗外の知的空間』(新曜社)、pp. 429～470、6. 30
- 6 随筆：「〈すべからく〉考」、東大比較文学会「比較文學研究」第70号、pp. 173～176、8. 10
- 7 随筆：「神田孝夫先生追悼記」、東大比較文学会「比較文學研究」第70号、pp. 120～122、8. 10
- 8 編集協力(編集・執筆・校閲)：竹田晃・坂梨隆三 [編]『五十音引き漢和辞典』、講談社、10. 4
- 9 随筆：「海印寺文化旅行報告記」、東京大学大学院総合文化研究科比較文学比較文化研究室「比較文学比較文化研究室通信」第11号、pp. 12～15、11. 20
- 10 索引・年表：平川祐弘 [著]『マッテオ・リッチ伝』1～3の「索引」および「マッテオ・リッチ年表」の作成。『マッテオ・リッチ伝』3(平凡社・東洋文庫)、pp. 255～305、12. 10
- 11 講演筆録修訂論考：「福沢諭吉の文章と漢文訓読——『文明論之概略』を素材として」、福沢諭吉協会「福沢諭吉年鑑」24、pp. 181～200、12. 20
- B : 1 シンポジウム「環太平洋圏における日本文化の成立とその展開〈近代東アジア・日本 相互イメージの研究〉」、司会、国際日本文化研究センター、2. 20～21
- 2 「日韓両国の漢文受容に関する一考察」、第1回東アジア比較文学国際学術大会「伝統文学の理論と様式」分科会、国民文学(大韓民国ソウル市)、6. 21
- 3 On the Concept of Soshibun——poems inserted into narrative ——in East Asian Literature, 国際比較文学会(ICLA)第15回世界大会; Section 8, 1st session; ライデン大学(オランダ)、8. 18
- 4 国際比較文学会(ICLA)第15回世界大会; Section 8, 2nd session, 司会 [英語・フランス語併用]、ライデン大学(オランダ)、8. 18
- 5 「三国鼎立? ——杜牧《山行》詩〈坐〉字の解釈」、東亜比較文学史国際学術研究会、北京大学(中国)、10. 31
- 6 司会・翻訳・第24回中日教師研討会、第11分科会の司会および奥野誠亮氏「祝辞」

- と高橋史朗氏「閉会の辞」の翻訳 [中国語]、国立教育会館、11. 8～9
- 7 「日韓両国の漢文受容方式の一側面」、第2回東アジア比較文化国際会議、熊本国際交流会館、12. 7
- C : 1 集中講義：「日本人と漢文訓読」、熊本大学文学部+大学院、7. 14～17
- D : 1 研究施設視察：アルザス成城学園日本文化センターInstitut Seijo d'Alsace, centre culturel japonais (センター長：金沢公子教授) および関連諸施設、コルマル (フランス)、8. 24～26

小堀桂一郎

(新聞・雑誌類所掲の論説・コラム・談話等を除く)

- A : 1 (論文)「欺かれた人々」、『日本及日本人』平成九年新春号、pp. 20～35、日本及日本人社、1. 1
- 2 (論文)「五十年後の鎮魂の賦」、『月曜評論』第1308号、pp. 2～3、月曜評論社、2. 15
- 3 (論文)「漢奸の精神病理」、『正論』三月号、pp. 79～91、産経新聞社、3. 1
- 4 (論文)「上代文學に見る「天道」概念の形成」、『明星大學研究紀要』〔日本文化学部・言語文化学科〕第五号、pp. 13～32、明星大學日本文化学部、3. 25
- 5 (講演筆録)「アジアの将来と教育の使命」、『日華交流教育会紀要』第23号、pp. 11～33、日華交流教育會、3. 30
- 6 (講演筆録)「美術史上の記念碑的繪畫の位置」、『明治聖徳記念學會紀要』第二十号、pp. 15～35、明治聖徳記念學會、4. 15
- 7 (論文)「忘れられたままの主権回復」、『正論』五月号、pp. 278～288、産経新聞社、5. 1
- 8 (講演筆録)「森鷗外の史傳・評價の試み」、『文學・語學』第155号、pp. 1～12、全國大學國語國文學會、5. 31
- 9 (論文)「未だ解けぬ神道指令の呪縛」、『正論』六月号、pp. 120～129、産経新聞社、6. 1
- 10 (序文)中村都史子著『日本のイプセン現象・1906—1916年』、pp. 1～9、九州大學出版會、6. 5
- 11 (論文)「歐洲大戰中の森鷗外」、『講座森鷗外3・鷗外の知的空間』、pp. 290～329、新曜社、6. 30
- 12 (論文)「散文様式の藝術的完成——森鷗外とG・フロベール」、佐々木昭夫編『日本近代文學と西歐』、pp. 47～75、翰林書房、7. 10
- 13 (單行書・講演筆録)『日本における文明の衝突』、88ps、國民會館叢書第19輯、7. 10
- 14 (論文)「占領はまだ續いてゐる」、政教関係を正す會編『最高裁への批判——愛媛玉串料訴訟判決に接して』、pp. 41～48、政教関係を正す會、7. 13
- 15 (講演筆録)「戦後日本と國家主權」、『VOICE』九月号、pp. 142～148、PHP研究所、9. 1 (cf. C:7)

-
- 16 (書評)「英譯『少年日本史』に寄せて」、『日本』第47巻第9号、pp. 14~15、日本學協會、9. 1
- 17 (論文)「日本の禍根——中華覇権主義の不吉な影」、『正論』十月号、pp. 114~123、産經新聞社、10. 1
- 18 (單行著書)『東京裁判の呪ひ——日本を呪縛から解き放て』、299ps、PHP研究所、10. 30
- 19 (論文)「臺灣の國連復歸支持を論ず」、『アジアレポート』第293号、pp. 15~21、マスコミ総合研究所、10. 15 (cf. C:12)
- 20 (論文)「『東條英機史觀』再考」、『諸君!』12月号、pp. 220~230、文藝春秋、12. 1
- 21 (論文)「翻譯の文壇的効用」、『森鷗外研究』第七号、pp. 106~120、和泉書院、12. 1
- B : 1 (發表)「現代に生きる天神地祇」、神社本廳第15回教學大會、於神社本廳、3. 6
- 2 (記念講演)「翻譯の意義について——東アジア印刷文化史の流の中で」、日本學研究會例會、於韓國外國語大學日本文化研究所、6. 20
- 3 (報告)「シンポジウム・東アジア文學傳統の承継と交流」、東アジア比較文學國際學術大會、於ソウル國民大學校、6. 21
- C : 1 (隨筆)「楠木正行の母」、『少年アジアの風』第十一号、pp. 8~11、展転社、1. 1
- 2 (報告筆録)「傳統的言葉の様式」、「シンポジウム・国民文化を迎え入れる方法」、發言者塾主催、3. 15 (後日『發言者』五月号に収録、5. 1)
- 3 (論説)「教科書問題の最終的解決への提言」、『世界と日本』四月号、pp. 2~10、新日本協議會、4. 1
- 4 (講演)「日本に於ける文明の衝突」、国民會館武藤記念講座第722回、於大阪市國民會館、4. 5 (cf. A:13)
- 5 (報告)「偏向教科書を正すために」、歴史教科書是正を求める會主催講演會、於目黒公会堂、4. 10
- 6 (講演)「教科書是正の方途」、正論を聞く集い例会、於産經新聞社、4. 26
- 7 (基調報告)「戦後日本と國家主權」、主權回復四十五周年記念國民集會「日本の獨立記念日」、於九段會館、4. 28 (cf. A:15)
- 8 (講演)「文明の衝突といふ事」、新橋ロータリークラブ定例会、5. 6
- 9 (講演)「我が國の防衛と教育」、石川縣郷友會主催防衛問題講演會、於金澤市民會館、5. 8
- 10 (報告)「日台關係・過去と現在」、南海文教基金主催「シンポジウム・新しい日台關係の幕開け」、於台北、5. 22 於高雄、5. 24 (後日『發言者』八月号に収録、8. 1)
- 11 (對談筆録)「主權の尊嚴と廉恥心」、對談者・南丘喜八郎、『月刊日本』七月号、pp. 14~24、月刊日本社、6. 15
- 12 (報告)「台湾の國連復歸支持を論ず」マスコミ総合研究所主催「シンポジウム・台湾の國連復歸支持の正当性」、於ホテル京王プラザ、10. 4 (cf. A:19)
-

- 13 (講演)「歴史を見れば現在がわかる」、新日本協議会主催「中華覇権主義糾弾國民集会」、於學士会館、11.5 (cf. C:16)
- 14 (講演)「みたま信仰について」、香川縣護國神社主催定例文化講演会、於普通寺市讚岐宮、11.22
- 15 (講演)「世界に於ける日本の使命」、國民文化研究會主催「國民文化講座」第一回、於スクワール麴町、11.29
- 16 (講演筆録)「歴史を見れば現在がわかる」、『不二』第52巻第12号、pp.14～16、不二歌道會、12.25 (cf. C:13)

佐佐木茂美

- A : 1 『散文トリストン物語』とHudentおよびその介入、『明星大学研究紀要』、日本文化学部、言語文化学科、第5号、pp.150～160、3.25
- 2 『ブリタニカ国際大百科事典』、(小項目版)、TBSブリタニカ、電子ブックWindows対応、7項目担当、4
 - 3 In memoriam: Teruo Sato, Studi Francesi, vol.116, 437
 - 4 Nouvelles du Japon, Studi Francesi, vol.115, 424
 - 5 In piam memoriam, Teruo Sato, Bibliographical Bulletin of the International Courtly Literature Society, vol. XVII, 1995, pp.7～9, oct.1997
 - 6 Appendix II :Japanese Bibliography, Glyn S. Burgess, Marie de France, London, Grant and Cutler Ltd, pp.151～156, sept.1997
 - 7 「科研総合研究報告」(平成9年度)、文部省
- B : 1 シンポジウム(基調報告者およびパネリスト): "L'état des études et de la mémoire culturelle françaises dans le monde: tendances et principe d'action dans le monde", Association Internationale des Etudes Françaises(司会: Jean Mesnard (会長)), Ecole Normale Supérieure (Paris, rue d'Ulm)、7.8
- D : 1 資料蒐集(写本、インクナブラ、19世紀および20世紀前半刊行絶版の資料)(Bibliothèque Nationale de France, Archives Nationales, Bibliothèque de la Sorbonne (France, Paris)、7～9

柴田雅生

- A : 1 「平安和文における漢語「例」についての一考察——『源氏物語』の用例を中心に——」、『活水日文』第35号、pp.198～211、12.20

島田良二

- A : 1 人麿集の本文とその成立について「文学・語学」5月号
- 2 好忠集における歌枕について(『王朝和歌史論』笠間書院12月刊、所收)
 - 3 百人一首の撰歌について(続)『明星大学研究紀要』(日本文化学部・言語文化学科)第5号、pp.1～11
 - 4 陽明文庫蔵「三十六人集」の本文について(明星大学日本文化学部紀要5号)69～82

- C : 1 朝日カルチャ「源氏物語」20回
 2 読売カルチャ「源氏物語」20回
 3 東武デパートカルチャ「源氏物語」12回
 4 千葉市民大学講座「百人一首」2回

正慶 孝

- A : 1 『頭のよくなる新聞の読み方』(同朋舎、126ps.、3.25)
 2 『Economics 24物語』(手島佑郎氏と共著、フォレスト出版、206ps.、4.9)
 3 『困ったら、この名言を思い出せ!』(同朋舎、126ps.、8.25)
 4 『学ぶなら長嶋だ!』(高田実彦氏著、同朋舎、pp.116~127、4.25、解説)
 B : 1 「大衆社会の文化的矛盾——三人のユダヤ人」(地下経済研究会、11.29、日本大学経済学部)
 C : 1 講義「家庭経営」(NHK文化センター、5.25)
 2 対談「大変革期の現代に蘇る経済の古典 温故知新が新たな視点を生む!」(竹村健一氏と対談、『月刊世相』、1997年9月号)
 3 雑誌連載「日本の『こころの源流』を読む」(『清流』、1997年1月号から8月号まで)

須藤美奈子

- C : 1 「児童歴史小説の与えてくれるもの——アメリカ・フロンティア時代を中心に——」、明星大学青梅キャンパス公開講座、6.14
 2 「英米児童文学の成り立ち」、埼玉県東部地区公共図書館研究会奉仕業務担当者会議、春日部市立図書館、7.9
 3 (〔特集〕図書館司書講習科目が変更——児童サービス論が必修になった——)「必須科目の報に接して」、児童図書館研究会『こどもの図書館』Vol.44、No.8、pp.5~7、8.25
 4 「児童歴史小説の与えてくれるもの」、『青梅会報』第11号、pp.71~78、10.13

高柳俊男

- A : 1 「『朝鮮時論』にみる日本人の朝鮮観変革運動の軌跡」、復刻版『朝鮮時論』別冊 解題、緑蔭書房、1.31
 2 「在日韓国・朝鮮人」、CD-ROM版百科事典『エンカルタ97』、マイクロソフト社、2.14
 3 「張赫宙」ほか全18項目、『近代日本社会運動史人物大事典』、日外アソシエーツ、1.20
 4 書評：山田昭次著『金子文子』、『史苑』第57巻第2号、立教大学史学会、3.15
 5 「“一徹居士”金広志さんを偲んで」、刊行世話人会編『追悼 金広志先生』、11.29
 6 「日本映画のなかの在日朝鮮人」、『アリラン文化講座第4集 映像にみる在日朝鮮人』、文化センター・アリラン、12.20

- B : 1 書評：山田昭次『金子文子』、朝鮮史研究会例会、4.19
- C : 1 北区立赤羽文化センター教養講座「東京の中の韓国・朝鮮——日本と韓国・朝鮮の交流史を歩く」、5.16、5.23、5.30、6.6、6.13、6.27（全6回）
- 2 埼玉「歴史を考える連続講座」、シンポジウムパネリスト、6.7
- 3 「多摩女性と社会セミナー」主催のシンポジウム「多摩川流域で暮らした朝鮮・韓国の人びと」、司会兼パネリスト、10.11
- 4 1997年度東京都社会同和教育研修「東京のなかの韓国・朝鮮」、映画『海を渡る友情』解説と講演、10.17
- 5 東京都水元青年の家主催フィールドワーク「街の中に朝鮮関連の銅像を訪ねる」、水先案内人（上野・国会議事堂周辺）、11.9

田中 敏

- C : 1 “Japan im Zweiten Weltkrieg”（「第二次世界大戦における日本」）ミュンヘン政治大学、7.22 アウグスブルク大学 日本シリーズ公開講演、7.24

万惠洲

- A : 1 《欧化使汉语词汇面貌一新》「明星大学研究紀要」[日本文化学部・言語文化学科]第五号、平成九年、p21～p33

菱山覚一郎

- A : 1 「戦後日本における経験主義教育批判の萌芽」、『明星大学教育学研究紀要』、第12号、pp.69～77、明星大学教育学研究室、3.20
- B : 1 「社会科の中で『地域』をどう扱ったか—史的考察を中心に—」多摩地区教育研究会定例会、4.22
- 2 「デューイ教育思想と日本の社会科—昭和20年代の社会科理論をめぐる—」多摩地区教育研究会定例会、8.19
- D : 1 昭和初期の民間教育運動：南多摩地区（八王子近隣）の民間教育運動調査、12.20～23

秀村研二

- A : 1 「伝統社会における女性」、伊藤亜人編『もっと知りたい韓国 第2版』pp.169～177、弘文堂、12.30
- 2 「教会と信者」、伊藤亜人編『もっと知りたい韓国 第2版』pp.227～231、弘文堂、12.30
- 3 「祈祷院」、伊藤亜人編『もっと知りたい韓国 第2版』pp.231～235、弘文堂、12.30
- B : 1 「教会と教会のあいだ」、日韓共同研究フォーラム合同論文発表会、高麗大学(韓国) 10.12
- 2 「教会と教会のあいだ—韓国社会におけるキリスト教の受容」、国立民族学博物館

- 共同研究会『福音と文明化の人類学研究』、国立民族学博物館、10.25
- C : 1 東京都立大学都民カレッジ「韓国のキリスト教と伝統文化」10月～12月全8回
- D : 1 韓国近世郷村社会史研究現地調査（大韓民国安東市）、3.13～3.27
- 2 「韓国社会における都市化の過程に関する文化人類学的研究」（平成9年度文部省科学研究費補助金 研究代表：伊藤亜人）による調査・研究、大韓民国ソウル市、高楊市、慶尚北道迎日郡清河面、8.16～9.16
- 3 韓国近世郷村社会史研究現地調査（大韓民国慶尚北道尚州市、英陽郡など）、10.28～11.4

深澤 清

- A : 1 「大学における語学教育—Communicative Approachのすすめ」『大学院英米文学』第4号、pp.49～63、明星大学大学院英米文学研究会、3.20
- 2 「Interactions in Reading Class」、『英米文学語学研究会論集』第7号、pp59～65、英米文学語学研究会、12.15
- 3 共著『オスカーワイルド事典』北星堂書店、10.3
- B : 1 学会発表：「Oscar Wilde in America」、第18回ワイルド学会、駒沢大学、7.6
- 2 日本ワイルド協会幹事（通年）
- D : 1 International Yeats Summer School (Sligo, Dublin) 8.1～15
Dublin National Library で資料調査、8.16～18

丸山正義

- A : 1 アンリ＝ルイ・ド・ラ・グランジュ『グスタフ・マーラー』（翻訳）『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第5号、pp.99～108

矢野浩三郎

- A : 1 翻訳：ピーター・アクロイド『魔の聖堂』、新潮社、347ps、3.15
- 2 翻訳：ガイ・バート『体験のあと』、集英社、237ps、3.17
- 3 翻訳：ケン・フォレット『レベッカへの鍵』（改訳版）、新潮文庫、553ps、7.1
- 4 翻訳：スチュアート・ウッズ『パリンドローム』、文藝春秋、468ps、11.1
- C : 1 書評：「ヴィクトリア朝・罪と罰の風俗案内」（ステイブ・ジョーンズ『罪と罰のロンドン』書評）、『週刊文春』、文藝春秋、4.10号
- 2 「『聖なる幾何学』の迷宮」、『波』、新潮社、4月号
- 3 「エルキュール・ポアロ・グラフィティ」『世界の名探偵コレクション』10「エルキュール・ポアロ」解説、pp.255～268、集英社文庫、5.25
- 4 第11回明星大学公開講座「ドラキュラは生きていた——その誕生100年目にあたって」、明星大学青梅キャンパス、10.25

山下善明

- A : 1 「道——出会いの場所（一つの解釈学的試論）」、河波昌 [編]『場所論の種々相』 (111)

pp. 154~171、北樹出版、7. 10

- B : 1 学会発表：「遠さと遙かさと——homo loquensの誕生」、日本学術振興会第28回
セミナー「生命・場・生成」、4. 29、30
2 学会発表：「方丈記、徒然草にみる場所的論理」、本田技研 “Ba” Forum、6. 25
3 上智哲学会会誌『哲学論集』第23号編集委員

和田正美

- A : 1 書評：中村真一郎『再読日本近代文学』（集英社）——不在の中の文学——『明星大
学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第5号、pp.83~87、3. 25
B : 1 学会発表：「武田泰淳における中國」、東亞細亞比較文學學術大會、韓國・國民大
學校、6. 20

平成9年：日本文化学部合同研究会（任意参加）が以下の通り開催されました。

第4回：主題「身体論の試み」、明星大学研修会館：第五会議室、7. 2

発表者：牛村 圭（一般教育）「『三郎』の運動会——スポーツ文明学試論」
塩野麻理（生活芸術）「ふれる楽しみ」

第5回：主題「美とイメージ」、明星大学図書館：青梅分館会議室、12. 19

発表者：岡本文一（生活芸術）「幕末西南雄藩のガラス製造」
川本皓嗣（東京大学）「俳句とイメージ——パウンドの詩をめぐって」

編集委員会より

本号には、平成10年3月末日を以て御退任なさる島田良二教授への献呈論文が
四氏から寄せられたため、特に「島田良二教授御退任記念献呈論文」全四篇とし
て掲載した。

島田良二教授 本紀要掲載論文等一覧

- 第1号（平成5年） 古今集の修辞——枕詞と序詞——
第2号（平成6年） 富樫広蔭著『古今集紀氏直伝解』（架蔵）について（一）
第3号（平成7年） 富樫広蔭著『古今集紀氏直伝解』（架蔵）について（二）
第4号（平成8年） 陽明文庫蔵三十六人集（十冊本）（10. 68）について
翻刻「赤人集」付載
第5号（平成9年） 百人一首の撰歌について
【翻刻】清正・友則・素性集（架蔵）翻刻
第6号（平成10年） 百人一首の撰歌について（続）
【翻刻】陽明文庫蔵三十六人集（212・2）の本文について